



大坂城三の丸に立つ追手門学院小学校 校内に眠る大坂城遺構の発掘現場で学習

校舎の建替えに伴い発掘調査を行っている追手門学院小学校(大阪府中央区、校長：東田 充司)は、大坂城と深い関わりのある学校の歴史について児童の理解を深めようと、あす(12月20日)、発掘現場を見学する学習会を開催します。

あすは全校児童が2つのグループに分かれ、発掘調査を行っている小学校北東部の現場を見学します。発掘現場からは豊臣時代のお椀などが出土しており、400年前までさかのぼる大坂城の営みにじかに触れる機会とします。

1888(明治21)年の創立よりほぼ同じ場所にある追手門学院小学校は、学校法人追手門学院の発祥校であり、豊臣時代からの大坂城遺構の上に建っています。大坂城の歴史を学ぶことは追手門学院の歴史を学ぶことでもあり、2019年3月竣工予定の校舎・新東館でもそうした歴史展示を行うことにしています。

大坂城遺構の上にある追手門学院小学校ならではの歴史学習をぜひ取材ください。

【ポイント】

- 自校内にある大坂城遺構の発掘現場を、全児童が見学する歴史学習
- 大坂城旧三の丸にある追手門学院小学校の地下には大坂城の遺構が眠る
- 大坂城の歴史を通じて追手門学院の歴史を学ぶ本校ならではの取組



【概要】

1. 日 時：2017年12月20日 8時25分～9時
2. 会 場：追手門学院小学校
(大阪府中央区大手前1-3-20 地下鉄・京阪天満橋駅 徒歩7分)
3. 参加者：追手門学院小学校全児童約900人

この資料の配付先：北摂記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ

【発行元】 追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 谷ノ内・足立